

令和 7 年 4 月 21 日

(※受付番号)

大阪市総合教育センター
教育振興担当 実践研究グループ
首席指導主事様

研究コース
B グループ研究B
校舎コード (代表者校舎の市費コード)
671480

代表者	校 園 名 :	北鶴橋小学校
	校舎長名 :	川崎 菜穂子
	電 話 :	6741-6706
	事務職員名 :	服部 朋美
申請者	校 園 名 :	北鶴橋小学校
	職名・名前 :	主務教諭・藤本 かおり
	電 話 :	6741-6706

令和7年度「がんばる先生支援」申請書

◇本研究の支援を受けたく、次のとおり申請します。

1	研究コース	コース名	B グループ研究B	研究年数	継続研究 (3年目)
2	研究テーマ	個別最適な学びに向けた 教員の Collaborative learning ～通級指導教室担当教員のスキルアップと育成～			
3	研究目的	<p>テーマに合致した目的を項立てして記載してください。</p> <p>1. 他校通級指導教室担当者のスキルアップにリーダー育成 ○外部研修への積極的参加による情報収集と Collaborative learning による学びの共有と深化 ○外部講師を招いての授業研究とその事例報告会</p> <p>2. 研修会のオープン化による通級指導教室担当者の育成 ○インクルーシブ教育推進室と連携したオープン研修を行い、通級指導教室の担当者を育成する</p> <p>3. 通級指導教室Virtual職員室の構築で連携を図り、働き方改革と授業力向上の両立につなげる ○Teamsを活用した開発教材の共有や情報共有を行うことにより、各校にわかれた通級指導教室担当者の連携を図る。</p>			
		<p>(1)研究内容の詳細 ※継続研究2年目以降は1年目の記載をコピーして貼付する</p> <p>1. 他校通級指導教室担当者のスキルアップとリーダー育成 ○外部研修への積極的参加による情報収集と Collaborative learning による学びの共有と深化 ・大阪市教育局の方針により自校通級指導教室の設置が増え、担当教員の育成が喫緊の課題となっている。その学びのリーダーとなるため、積極的に外部研修に参加し、協働にて学びの共有深化を行う ○外部講師を招いての授業研究とその事例報告会 ・大阪市内における通級指導教室のエキスパートリーダーとなるべく、外部講師を招いて通級指導方法についての授業研究を行い、指導力を深める</p> <p>2. 研修会のオープン化による通級指導教室担当者の育成 ○インクルーシブ教育推進室と連携したオープン研修を行い、通級指導教室の担当者を育成する ・年2回のオープン研修を行うことにより、学びを広げ、全校での設置に向けた通級指導教室の担当者の育成につなげる。</p> <p>3. 通級指導教室Virtual職員室の構築で連携を図り、働き方改革と授業力向上の両立につなげる ○Teamsを活用した開発教材の共有や情報共有を行うことにより、各校にわかれた通級指導教室担当者の連携を図る。 ・Teamsのファイル機能を活用して、各学校に在籍する通級指導教室担当者が個々に作成した教材を共有しあうことにより、通級指導教室のVirtual教材室を作る。 ・Teamsの投稿機能を活用して、研修案内や情報共有を行うことで通級指導教室Virtual職員室を作る。</p>			
		(2)継続研究 [2年目] ※継続研究3年目の場合は、2年目の記載をコピーして貼付する			

4	研究内容	<p>1. 他校通級指導教室担当者のスキルアップとリーダー育成 ○外部研修への積極的参加による情報収集と Collaborative learning による学びの共有と深化 ・大阪市教育委員会の方針により自校通級指導教室の設置が増え、担当教員の育成が喫緊の課題となっている。その学びのリーダーとなるため、積極的に外部研修に参加し、協働にて学びの共有深化を行う ○外部講師を招いての授業研究とその事例報告会 ・大阪市における通級指導教室のエキスパートリーダーとなるべく、外部講師を招いて通級指導方法についての授業研究を行い、指導力を深める</p> <p>2. 研修会のオープン化による通級指導教室担当者の育成 ○インクルーシブ教育推進室と連携したオープン研修を行い、通級指導教室の担当者を育成する ・年2回のオープン研修を行うことにより、学びを広げ、全校での設置に向けた通級指導教室の担当者の育成につなげる。</p> <p>3. 通級指導教室Virtual職員室の構築で連携を図り、働き方改革と授業力向上の両立につなげる ○Teamsを活用した開発教材の共有や情報共有を行うことにより、各校にわかれた通級指導教室担当者の連携を図る。 ・Teamsのファイル機能を活用して、各学校に在籍する通級指導教室担当者が個々に作成した教材を共有しあうことにより、通級指導教室のVirtual教材室を作る。 ・Teamsの投稿機能を活用して、研修案内や情報共有を行うことで通級指導教室Virtual職員室を作る。</p> <p>(3)継続研究 [3年目]</p> <p>1. 指導指導教室担当者のスキルアップとリーダー育成 ○外部研修への積極的参加による情報収集と Collaborative learning による学びの共有と深化 ・大阪市教育委員会の方針により自校通級指導教室の設置が増え、担当教員の育成が喫緊の課題となっている。その学びのリーダーとなるため、積極的に外部研修に参加し、協働にて学びの共有深化を行う。今年度は【外国にルーツのある子どもへの発達検査の可能性】についてを中心にする。 ○外部講師を招いての授業研究とその事例報告会 ・大阪市における通級指導教室のエキスパートリーダーとなるべく、外部講師を招いて通級指導方法についての授業研究を行い、指導力を深める</p> <p>2. 研修会のオープン化による通級指導教室担当者の育成【SSTと吃音について】 ○インクルーシブ教育推進室と連携したオープン研修を行い、通級指導教室の担当者を育成する ・年2回のオープン研修を行うことにより、学びを広げ、全校での設置に向けた通級指導教室の担当者の育成につなげる。</p> <p>3. 通級指導教室Virtual職員室の構築で連携を図り、働き方改革と授業力向上の両立につなげる ○Teamsを活用した開発教材の共有や情報共有を行うことにより、各校にわかれた通級指導教室担当者の連携を図る。 ・Teamsのファイル機能を活用して、各学校に在籍する通級指導教室担当者が個々に作成した教材を共有しあうことにより、通級指導教室のVirtual教材室を作る。 ・Teamsの投稿機能を活用して、研修案内や情報共有を行うことで通級指導教室Virtual職員室を作る。</p>
---	------	--

5	活動計画	<div>日程や内容など、研究の過程がわかるように詳細に記載してください。</div> <div>4月 【オンデマンド研究企画会】 ・研究テーマ、研究の進め方、見込まれる成果等について検討する ・年間計画を立案する ・アンケートを作成する 【オンデマンド研究推進委員会】 ・研究テーマと年間計画の共通理解を図る ・通級指導教室Virtual職員室（通級指導教室チーム）を作成し、利用の共通理解を図る 【外国にルーツをもつ児童への発達検査の可能性について】ポスター発表のための原稿作成 6月 ・実践や教材についての交流と情報交流、伝達研修 大阪医科薬科大学LDセンター講演会参加（Teams共有） 【第1回目 吃音グループ学習と保護者会】① 7月 ・実践交流と情報交流、伝達研修 WISCV活用 8月 オープン講演会（SSTについて）オープン研修 ・実践交流と情報交流、講演会開催（保護者や学生も ） SENS研修会参加・神奈川LD協会夏のセミナー（Teams共有） 【第2回 吃音グループ学習 吃音についての講演会 オープン研修として】② 9月 ・実践交流と情報交流 大阪医科薬科大学LDセンター講演会参加（Teams共有） 10月 ・実践交流と情報交流 伝達研修 日本LD学会第33回大会（東京大会）にてポスター発表 【外国にルーツをもつ児童への発達検査の可能性について】 11月 ・実践交流と情報交流 伝達講習 【第3回吃音グループ学習】③ 12月 実践交流と情報交流、伝達研修 1月 がんばる先生支援 研究報告会【外国にルーツをもつ児童への発達検査の可能性】 ・事例検討研修協議・指導助言 ・講演会 【オンデマンド研究会（まとめ）】 ・児童アンケート、教員アンケート、オープン研修参加者アンケートの実施と分析 ・がんばる先生支援報告書作成・提出 2月 実践交流と情報交流、伝達研修 3月 本年度の成果と課題の共通理解</div>
		<div>出張を伴う研究会への参加、外部講師を招聘する研修会の実施等、経費執行が必要な取組内容を記載してください。</div> <div>・日本LD学会第34回大会（東京）参加 ・第8回WISCV知能検査講習会参加 ・大阪医科薬科大学LDセンター講習会参加（年3回） ・SENS研修会参加 ・神奈川LD協会夏のセミナー参加 ・第6回SENS年次大会IN長野参加 ・第24回発達性ディスレクシア研究会参加 ・SST講演会 講師 元広島大学 教授 栗原 慎二教授 ・吃音講演会 講師 関西外国語大学 短期大学部 准教授 堅田利明 ・外国にルーツのある子どもへの発達検査の可能性 指導助言・講演 講師 梅花女子大学 教授 伊丹昌一</div>
6	見込まれる成果とその検証方法	<div>(1)継続研究（2年目、3年目）において検証方法の変更の有無を記入してください。</div> <div><div><div><input checked="" type="checkbox"/> 変更しない。</div><div>理由</div></div><div><input type="checkbox"/> 変更する。</div><div>経年にわたり、成果を検証したい。</div></div> <div>(2)大阪市教育振興基本計画に示されている、「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成および、「教員の資質や指導力」の向上について、それぞれ見込まれる成果を端的に記載し、その成果について客観的な指標により、必ず数値で示すことができる検証方法を記載してください。（いずれかに<input checked="" type="checkbox"/>を入れてください）</div>
		<div>【見込まれる成果1】</div> <div><input type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成 <input checked="" type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上 外部研修への参加によって最新の情報を得たり、知識を深めたりできるとともに、Teamsの活用等を通して学びの協働を行うことで、チームとしての指導力の向上につなげることができる。 外部講師を招いた授業研究や事例検討研修会を行うことにより、担当者間のCollaborative learningにつなげることができ、互いの指導力の向上につなげることができる。</div> <div>《検証方法》 研究員の保護者に向けた授業アンケートの 「通級担当者は、児童の行動観察やアセスメントなどをもとに児童理解に努め、実態に応じた指導をしている」「通級指導教室に通うことで、できるようになったことが増えた」 の2項目における肯定的な回答の割合が8割以上になる。</div> <div>【見込まれる成果2】</div> <div><input type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成 <input checked="" type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上</div>

	<p>他校通級研修の中の実技研修や事例検討研修をオープン化することにより、参加者の通級指導教室の専門的な指導実践力を高めることができ、計画的な設置を行っている自校通級指導教室の担当者の育成を図ることができる。</p> <p>《検証方法》</p> <p>オープン研修参加者アンケートの 「オープン研修を通して通級指導教室の指導についての知識を高めることができましたか」 の項目における肯定的な割合が8割以上になる。</p>
--	--

代表校園	北鶴橋小学校	校園長名	川崎 菜穂子						
6	見込まれる成果とその検証方法	<div>【見込まれる成果3】</div> <div><input type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成</div> <div><input checked="" type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上</div> <div>通級指導教室Virtual職員室の構築により、教材の共有や情報や知識の共有を効率的に行えるようになり、横の連携を高めることができ、働き方改革と授業力向上の両立につなげることができる。</div> <div>《検証方法》</div> <div>教員アンケートの</div> <div>「通級指導教室Virtual職員室（Teamsの通級指導教室チーム）による情報や教材の共有は通級指導教室での指導において効果的だと思いますか」</div> <div>の項目における肯定的な回答をする割合が8割以上になる。</div> <div>【見込まれる成果4】</div> <div><input type="checkbox"/> 「子どもが心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓く力」の育成</div> <div><input type="checkbox"/> 「教員の資質や指導力」の向上</div> <div>《検証方法》</div>							
7	研究成果の共有方法	<div>◆研究発表【必須】 <u>報告書提出日までに必ず行ってください。</u></div> <div>○研究発表の日程・場所（予定）</div> <table><tr><td>日程</td><td>令和 8 年 2 月 13 日</td><td>場所</td><td>北鶴橋小学校</td></tr></table> <div>◆【必須】 waku^{x2}.com-bee掲載による共有</div> <div>○掲載の日程（予定）</div> <table><tr><td>日程</td><td>令和 8 年 3 月 13 日</td></tr></table> <div>◆他の共有方法を計画している場合は記載してください。</div>		日程	令和 8 年 2 月 13 日	場所	北鶴橋小学校	日程	令和 8 年 3 月 13 日
日程	令和 8 年 2 月 13 日	場所	北鶴橋小学校						
日程	令和 8 年 3 月 13 日								
8	代表校園長のコメント	<div>1. 新規研究（1年目）</div> <div>通級指導教室の計画的な設置や他校通級指導教室の世代交代も含め、通級指導教室担当者の育成は大阪市内における喫緊の課題であると考えます。本年度より、通級指導教室連絡協議会の事務局も大阪市教育委員会インクルーシブ担当が担うことになり、その役割も大きくなってきている。そんな中で、他校通級指導教室担当者が主体となって協働体制でスキルを高めあえるシステムづくりやこれまで培ってきた専門的な指導技術や知識の伝承による後進の担当者育成、「個別最適化した学び」の推進の中、日々進化している指導技術や検査等の情報を個で学ぶには限界があり、Collaborative learningの研究は、方改革の面からみてもとても効果的な研究であると考えます。この研究により、通級指導に対する全市展開が促進されるとともに、これからの通級指導教室を担う人材育成に有効な研究だと考える。</div> <div>2. 継続研究（2年目）</div> <div>本校通級指導教室の設置校も半数を超え、他校通級指導教室担当者からのスキルの伝達と活動支援はますます重要となっている。実際、本校の担当者への問い合わせは多くなっている。昨年度のオープン研修への参加者も少なくなく、参加者からの肯定的な意見の多さから見て、大阪市のインクルーシブ教育推進に向けて、重要度の高い研究であると感じる。</div> <div>一方で他校通級担当者への負担も大きくなってきており、教育DXの推進を活用して、個々での学びではなく協働的な学びにつなげることは、働き方改革の観点からも重要となってくると感じる。</div> <div>本年度の重点として挙げている「算数障害」は近年注目されてきている「児童の困りごと」でもあり、学びの個別最適化に向けての最新の情報となるであろうと考えるとともに「WISK-V」のアセスメントの取れる教員の育成はインクルーシブ教育のセンター校としての役割を果たす上での重要な研究であると考えます。</div> <div>3. 継続研究（3年目）</div> <div>本校通級の設置拡大とともに、保護者の通級指導に対するニーズはますます高まっている。しかし、通級教室を担当する教員は、専門知識が高い教員ばかりではないのが現実である。本グループは、他校通級担当の教員のみで構成されている。これまで培ってきた経験を生かし、通級指導に対する知識・技能を広げるとともに、通級指導における人材育成の視点も兼ね備えている。</div> <div>また、昨今、全市各校で急な渡日の児童が増えている。その児童に対する理解で各校とも悩んでいる一つに、その児童がもっている特性は、言葉の問題によるものなのか、発達に課題があるのかという問題である。検査を行うにも難しいのが現状である。その視点からも更に研究を深め、結果や分析を全市に発信したいと考えている。今後の通級指導や特別支援教育にも、好結果をもたらす大変興味深い研究であると考えます。</div>							